

KENWOOD

チューンアップサブウーファー

KSC-SW12EQ

取扱説明書

株式会社 JVCケンウッド

© 2022 JVCKENWOOD Corporation B5A-4123-00/00

はじめに

お買い上げいただきましてありがとうございます。製品の取り付け、接続は専門技術と経験が必要です。取り付け、接続は安全のために、必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、安全上・使用上の注意を守り、製品を正しくお使いください。お読みになった後も取扱説明書は大切に保管してください。車両の取扱説明書と一緒に保管されることをお勧めします。

この説明書の中で、 【A警告】 【A注意】 のマークが付いている箇所は特に大事なこと、最も重要なポイントです。この部分は特にしっかりとお読みください。製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」を取り付け、接続作業を始める前、および使用する前によくお読みください。取り付け、接続のしかたの説明でおわかりになりにくいところがありましたら、当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。当社カスタマーサポートセンターへのお問い合わせ先は、「保証とアフターサービス」の下に記載してありますので参照ください。

- 使用上のご注意**
- エンジンを止めた状態で使用しない。**▶ バッテリーが上がりますのでご注意ください。
- オーディオコンポーネントのトーンコントロール、ラウドネスコントロールなどで低音域を上げ過ぎて使用しない。また、グラフィックイコライザーで低音域を上げ過ぎて使用しない。**▶ サブウーファーに過大な負荷が加わり、故障の原因となります。
- サブウーファー本体、リモコンを固い布やシンナー、アルコール等揮発性のものを使ってふかない。**▶ 傷が付いたり文字が消えることがあります。汚れたときは、シリコンクロスまたは軟らかい布でからぶきしてください。

安全運転のために
運転中は、車外の音が聞こえる音量に調節してお楽しみください。また、オーディオコンポーネントの操作は停車中に行うようにして、安全運転を心がけてください。

定格

これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

最大出力.....	160 W	動作電圧.....	12 V DC
周波数特性.....	40 Hz～200 Hz、－15 dB	イコライザー切換.....	HEAVY、TIGHT、FLAT
出力音圧レベル.....	89 dB	カットオフ周波数切換.....	50 Hz～125 Hz
定格入力レベル／インピーダンス		位相切換.....	0°、180°
RCA入力.....	20 mV / 22 k Ω	外形寸法	
スピーカー入力.....	0.4 V / 10 k Ω	幅×高さ×奥行.....	280 mm × 70 mm × 200 mm
消費電流.....	5.9 A	本体質量.....	2.6 kg

故障かな?と思ったら

ちょっとした操作ミスや配線違いなどにより、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下記の各項目についてチェックしてください。

こんなとき	どうして	どうします
電源が入らない(パワーインジケータが点灯しない)	ヒューズが切れている。	●コードのⓍ④接続確認とコード類がショートしていないことを確認後、指定容量のヒューズと交換してください。●接続例を見て正しく接続してください。
	10ピンコネクタ付コードの電源用端子(黄色)、パワーコントロール用端子(青/白色)、グラウンド用端子(黒色)のいずれかが接続されていない。	●接続例を見て正しく接続してください。●グラウンド用端子を車両の金属部(塗装面は不可)に確実にねじ止めてください。●端子を奥まで確実に差し込んでください。●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーのⓍ側コードを接続してください。
	10ピンコネクタ付コードのコネクタの差し込み不完全。	
	車のバッテリーのⓍ側コードが外れている。	●すべてのコードの接続を確認後、バッテリーのⓍ側コードを接続してください。
音が出ない	オーディオコンポーネントのアッテネーターがONになっている。VOLUMEつまみがMIN(最小)になっている。スピーカーコードが間違って接続されている。接続端子の接続不良。	●アッテネーターをOFFにしてください。●VOLUMEつまみを回し、適正音量に設定してください。●接続例を見て正しく接続してください。●端子を奥まで確実に差し込んでください。
音が小さい	FREQUENCYつまみが50Hz(最小)になっている。接続端子の接続不良。	●FREQUENCYつまみを回し、適正周波数に設定してください。
	大入力により、プロテクションが作動している。	●リモコンのコードをリモコン接続端子に接続し直してください。●RCAコードが確実に接続されているか、確認してください。
音質が悪い(歪む)	VOLUMEつまみが高く設定されている。	●VOLUMEつまみをMIN(最小)にし、しばらく放置してください。
音が不自然	スピーカーコードのⓍ④接続が合っていない。10ピンコネクタ付コードのグラウンド用端子(黒色)の接触不良。	●接続例を見て正しく接続してください。●グラウンド用端子を車両の金属部(塗装面は不可)に確実にねじ止めてください。
リモコンの操作が効かない	リモコンのコードが抜けている。または差し込みが不完全。	●コードをリモコン接続端子に確実に接続してください。●端子を奥まで確実に差し込んでください。●取り付けかたを見て正しく接続、固定してください。
リモコンのパワーインジケータが点灯しない		

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について	
<p>●保証書</p> <p>この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめの上販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。</p>	<p>●保証期間</p> <p>お買い上げの日より1年です。</p>
修理に関するご相談は	
<p>修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。</p>	
修理を依頼されるときは	
<p>「故障かな?と思ったら」を参照してお調べください。それでも異常があるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。</p>	
<p>●保証期間中は…</p> <p>保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。</p> <p>●保証期間経過後は…</p> <p>お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。</p> <p>●補修用性能部品の保有期間</p> <p>本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後6年保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。</p> <p>●持込修理</p> <p>この製品は持込修理とさせていただきます。本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。</p>	<p>●車両からの取り外し／取り付けについて</p> <p>修理をご依頼される場合は、製品を車両から取り外した状態でお買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスにお持ちください。なお、保証期間の外内に関わらず、修理、点検のために製品を車両から取り外しまたは取り付けした場合の作業費用の負担、および作業のご依頼は承っておりません。</p> <p>●修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）</p> <p>技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。</p> <p>部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</p>
	お買い上げ店名
	年 月 日

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）／0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）／045-450-8950（一部IP電話など）FAX 045-450-2308住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12 月曜～金曜:9:30～18:00、土曜:9:30～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）受付時間
- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ(https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html)またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内
<p>お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。https://jp.my-kenwood.com</p>

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について	
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。	
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

取り付けや配線について

警告

- 取り付け、接続作業は販売店または専門の業者に依頼する****取り付け、接続作業はこの「安全上のご注意」に従って行う**

取り付け、接続作業には、専門技術と経験が必要です。取り付け、接続作業は、安全のために必ずお買い上げの販売店または専門の業者に依頼してください。取り付け、接続作業は、この「安全上のご注意」の指定に従ってください。誤った取り付けを行うと、急ブレーキをかけたときに製品が外れて人にぶつかるなど、重大な事故が発生する危険性があります。誤った接続を行うと、感電、火災の原因となります。この「安全上のご注意」に従わない取り付け、取り付け不備を含め、これらによって発生した事故に対して、当社は一切責任を負うことができませんのでご注意ください。

包装用ビニール袋はかたづける

製品の包装に使われているビニール袋は、子どもがかぶって遊んだりしないよう、手の届かない所にかたづけてください。かぶって遊んだりすると、窒息の危険があります。

作業時は、車両バッテリーの接続を外す

取り付け、接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。バッテリーに接続したまま接続作業を行うと、ショート*が起こり、火災の原因となります。

安全な場所に設置する

製品の取り付けは、ドライバーの視界を妨げない場所や、車の運転の邪魔にならない場所、急停車等の場合と同乗者に危険を与えない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に取り付けてください。安全な場所に取り付けない場合、けが、事故の原因となります。

工具は寸法が合ったものを使用する

ボルト、ナットで製品を固定するときは、寸法の合った工具を使用して確実に締め付け、固定してください。指示トルクがあるものは、指定されたトルクで締め付けてください。合わない工具を使用すると、ボルト、ナットをいためたり、締め付け不十分により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

取り付けには専用の付属品を使用する

製品の取り付けには、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

タンクや電気配線を傷つけない

車両に穴を開けて製品を傷つ付ける場合、ガンリントンク、パイプ類、他の電気配線などの位置を確認のうえ、これらを絶対に傷つけないようにしてください。これらのものが傷つくと、火災の原因となります。

コードは正しく接続する

スピーカーコードは、スピーカー出力コードまたは端子に直接接続してください。車体に直接ねじ止めをしたり、スピーカーコードのⓍ側を共通にして接続すると、破損、火災の原因となります。

指定以外のコードは使わない

指定されたもの以外のコードは使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。指定コードが不明の場合は、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

配線コードはテープを巻いて保護する

車両の金属部近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。金属の端部分は鋭くなっていて、コードを傷めます。コードが傷つくと、感電やショート*による火災の原因となります。

電源コードの被覆を切った配線はしない

電源コードの被覆を途中で切って、他の機器の電源を取ることは、絶対におやめください。ショート*が起こり、火災の原因となります。

12V以外の電源では使用しない

本製品は12V マイナスアース車専用です。これ以外の電源では使用しないでください。12V マイナスアース以外の電源で使用すると、火災の原因となります。電源は車両の取扱説明書で確認してください。

重要保安部品には接続しない

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けて、アースをとらないでください。重要保安部品のボルトやナットにアースコードを取り付けてアースをとると、車両の機能が損なわれ交通事故の原因となります。

ヒューズは規定のものを使用する

ヒューズが切れたときは、接続したコードがショート*していないことを確認後、必ずヒューズボックスなどに表示された規定容量（アンペア数）のヒューズと交換してください。規定容量以外ヒューズを使うと、火災の原因となります。車両のヒューズを交換するときは、車両の取扱説明書を参照してください。

取り付け、接続後車両の点検を行う

製品の取り付け、接続が終了したら、車両のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを必ず確認してください。誤った接続などで車両の機能が損なわれていると、交通事故の原因となります。

絵表示の例

 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

取り付けや配線について

注意

- 接続コードを引っ張らない**
- 接続コードのコネクターを外すときは、コードを引っ張らずにコネクターをもって外してください。コネクターにロックがあるものは、ロックを解除して外してください。コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

直射日光はさける

直射日光が当たるところや、ヒーターの熱風が直接当たる場所への設置はしてください。製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

雨が吹き込むところや、水がかかるとおそれのある場所への設置はしてください。コードの断線や接触不良により、感電や火災の原因となります。

ほこりや湿気の多い場所、不安定な場所をさける

ほこりがかかるところや湿気の多い所、振動の多い場所、ガタつきのある不安定な場所への設置はしてください。感電、火災やけがの原因となります。

取り付け用部品は子どもの手の届かないところに置く

付属の取り付け用部品には、小さな部品があります。過って飲み込まないように、以下の点に注意してください。

- 取り付け、取り外しを行うときは、子どもの手の届くところに部品を放置しないでください。
- 作業後は行方がわからない部品が無いことを、付属品一覽で部品、数量を確認してください。
- 使用しない部品は、子どもの手の届かないところに保管してください。万一、子どもが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

使用方法について

警告

- 運転中にオーディオコンポーネントの操作をしない**

オーディオコンポーネントの操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。運転しながら操作を行うと、気を取られて交通事故の原因となります。

大音量は禁止

走行中は、車外の音が聞こえなくなるような大音量にはしないでください。周りの出来事に気づかず、交通事故の原因となります。

異常な音を出し続けない

スピーカーを長時間、音がわれたり、歪んだ状態で使わないでください。発熱し、火災の原因となります。また聴力に悪い影響を与えることがあります。

- 機器のケースを開けたり改造したりしない**
- 改造やお客さまによる修理は、火災その他の事故の原因となります。点検、修理は販売店、JVCケンウッド・サービスにご依頼ください。

異物を入れない

製品の通風孔、開口部から内部にゴミやドライバーなどの工具を落としたり、入れたりしないでください。異物が入ると、ショート*が起こり、感電や火災などの原因となります。

注意

車両以外には使わない

本製品は車両に設置して使うように設計されたものです。他の用途では使用しないでください。取り付け不備により、製品が外れて人にぶつかるなど、けがの原因となります。

発熱部には手を触れない

サブウーファー本体には、アンプの熱を逃がすための放熱器がついています。この部分は高温になります。使用中は、スイッチなどの操作部以外には手を触れないでください。放熱器に触れると、やけどの原因となります。

上に乗らない、物を載せない

製品の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。また、製品の上に物を載せないでください。こわれたり、取り付けが弱くなったりして、けがの原因となります。

上に飲料水などの入った容器を置かない

製品の上に、コップに入った飲料水など液体が入った容器を置かないでください。液体がこぼれ製品の中に入ると、感電や火災などの原因となります。

異常時の問い合わせ

警告

- 異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する**
- そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

*ショート

電気のプラスとマイナスが、直接つながってしまう事をいいます。むき出しになったコード（電気配線）が、他のコードや車の金属部に接触したときなどに起こります。火花が散り、周りの物に引火して火災の原因となります。

プロテクション機能	
本機には、様々なトラブルから本機やスピーカーを守るため、プロテクション機能が搭載されています。プロテクションが働くとき、アンプの動作が一時的に停止します。	以下のときプロテクション機能が働きます。 <ul style="list-style-type: none">本機が故障し、スピーカー出力に直流電圧が発生したとき。 内部温度が高温のとき。

接続のしかた

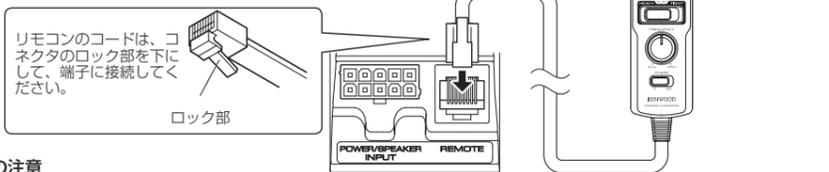
注意

接続を行う前に、必ずバッテリーのマイナス端子のコードを外してください。すべての接続が終了後、もう一度正しく接続されているか確認してください。確認が終わったあと、バッテリーのマイナス端子のコードを接続してください。

サブウーファー本体端子部



リモコンの接続



接続時の注意

- 必ず付属のリモコンを接続してご使用ください。
- コードが正しく接続されていない場合、リモコンのパワーインジケータは点灯しません。
- リモコンはコネクタの上下の向きを間違えないでください。端子に無理に差し込むと故障の原因となります。

スピーカー入力接続

オーディオコンポーネントのフロントスピーカー出力コードまたはリアスピーカー出力コードに、サブウーファーを接続します。

接続時の注意

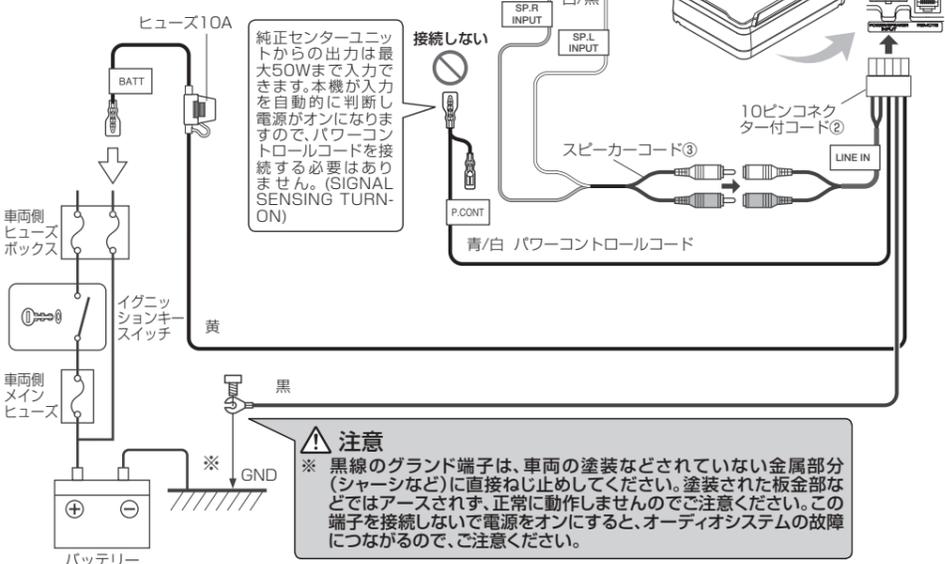
- 必ず付属のコードを接続してご使用ください。
- この取扱説明書だけでなく、オーディオコンポーネントなど接続される機器に付属している取扱説明書もあわせてご参照ください。
- バッテリーの端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。
- DSP付オーディオコンポーネントの場合、リア出力コードに接続するとDSP効果で低音再生効果が減少する場合があります。

接続例

オーディオコンポーネントをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。

注意

コード類は車両部品に挟み込んだり、コードに傷が付くような場所には配線しないでください。感電やショートによる火災の原因となります。



注意
※ 黒線のグラウンド端子は、車両の塗装などされていない金属部分(シャーシなど)に直接ねじ止めしてください。塗装された板金部などではアースされず、正常に動作しませんのでご注意ください。この端子を接続しないで電源をオンにすると、オーディオシステムの故障につながるため、ご注意ください。

RCA入力接続

オーディオコンポーネントのサブウーファー出力(ノンフェーダー出力)またはRCA端子のフロント出力に、サブウーファーを接続します。

接続時の注意

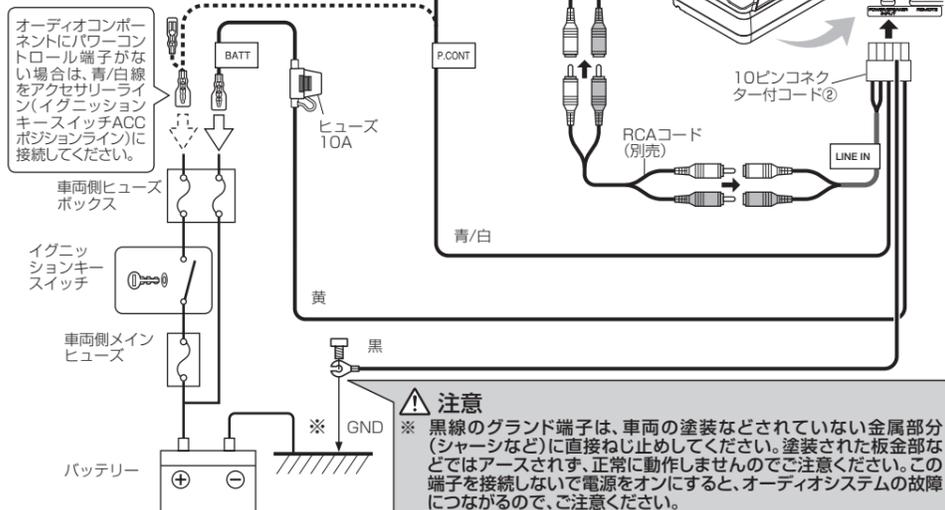
- 必ず付属のコードを接続してご使用ください。
- この取扱説明書だけでなく、オーディオコンポーネントなど接続される機器に付属している取扱説明書もあわせてご参照ください。
- バッテリーの端子を外すと、車に装着しているコンピューターのメモリーが消えたり、車両(外国車など)の電装系に不具合が発生する場合があります。詳しくはカーディーラーにお問い合わせください。
- 別売のRCAコードをご用意ください。
- DSP付オーディオコンポーネントは、サブウーファー出力(ノンフェーダー出力)またはRCA端子のフロント出力に接続してください。RCA端子のリア出力に接続するとDSP効果で低音再生効果が減少する場合があります。

接続例

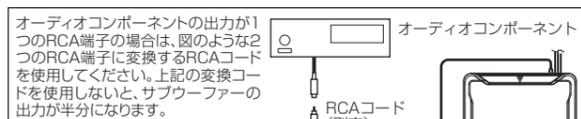
オーディオコンポーネントをより効果的に楽しむための代表的な例です。参考にしてください。

注意

コード類は車両部品に挟み込んだり、コードに傷が付くような場所には配線しないでください。感電やショートによる火災の原因となります。



注意
※ 黒線のグラウンド端子は、車両の塗装などされていない金属部分(シャーシなど)に直接ねじ止めしてください。塗装された板金部などではアースされず、正常に動作しませんのでご注意ください。この端子を接続しないで電源をオンにすると、オーディオシステムの故障につながるため、ご注意ください。



注意
コード類は車両部品に挟み込んだり、コードに傷が付くような場所には配線しないでください。感電や配線がショートし火災の原因となります。

付属品

- ① リモコン (5m) 1
- ② 10ピンコネクタ付コード (5m) 1
- ③ スピーカーコード (4.3m) 1
- ④ ブラケット A 2
- ⑤ ブラケット B 1
- ⑥ タッピングねじ (φ5×16 mm) 2
- ⑦ タッピングねじ (φ5×12 mm) 2
- ⑧ タッピングねじ (φ3×10 mm) 2
- ⑨ 面ファスナー (両面テープ付/リモコン用) 1

必要工具

プラスドライバー、電動ドリル

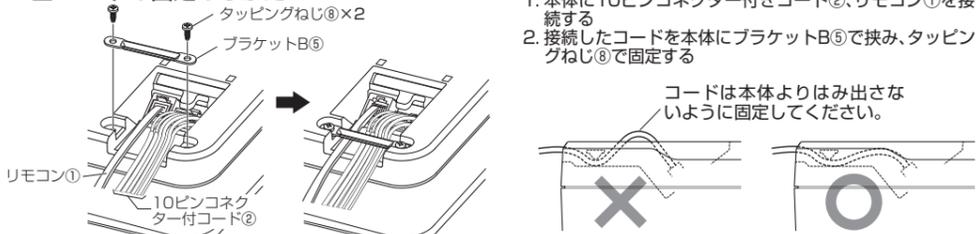
取り付けかた

サブウーファーを固定する前に、音の確認を行います。サブウーファーの置き場所、向きを変えたりして、よりよい音質、音場になるようにします。

警告 ● 車両に穴を開けるときは、ガソリタンク、パイプ類、他の電気配線などを絶対に傷つけないようにしてください。

注意 ● 運転および乗降、車内の移動のときに妨げにならない場所に設置してください。
● 走行中の振動や衝撃で、製品が動かないようにしっかりと固定してください。

コードの固定のしかた

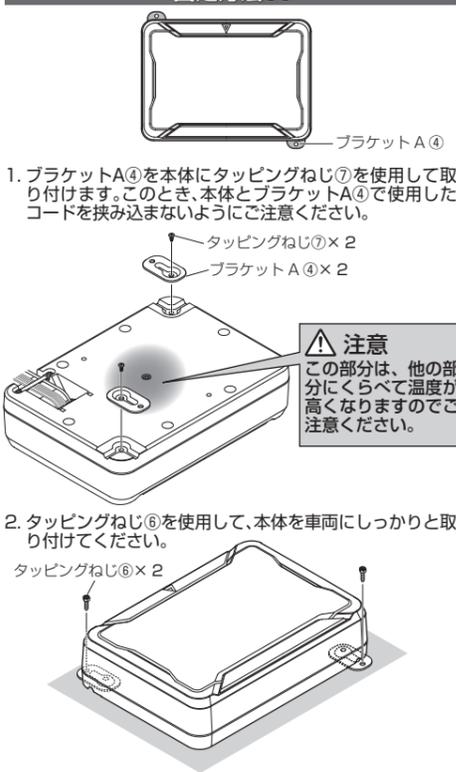


- 本体に10ピンコネクタ付きコード②、リモコン①を接続する
- 接続したコードを本体にブラケットB⑤で挟み、タッピングねじ⑧で固定する

サブウーファー本体の固定のしかた

サブウーファーの固定のしかたには2通りあります。取り付ける場所に応じてブラケットの取付位置を選んでください。

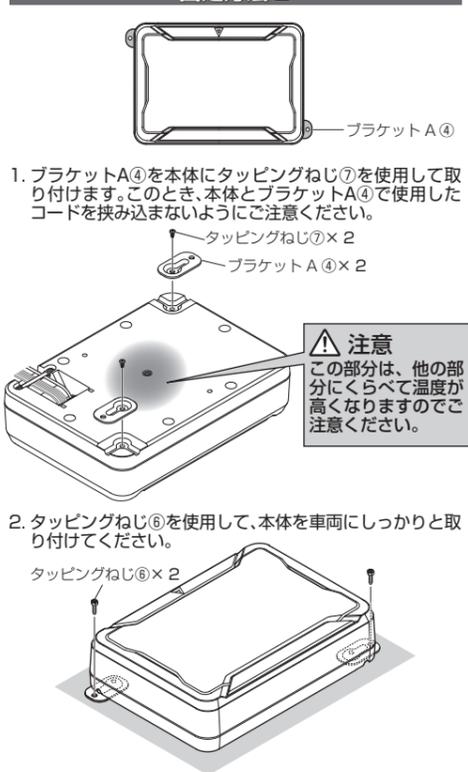
固定方法 A



- ブラケットA④を本体にタッピングねじ⑦を使用して取り付けます。このとき、本体とブラケットA④で使ったコードを挟み込まないようにご注意ください。
- タッピングねじ⑧を使用して、本体を車両にしっかりと取り付けてください。

注意
この部分は、他の部分にくらべて温度が高くなりますのでご注意ください。

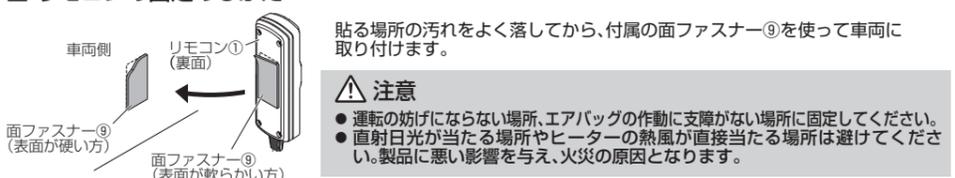
固定方法 B



- ブラケットA④を本体にタッピングねじ⑦を使用して取り付けます。このとき、本体とブラケットA④で使ったコードを挟み込まないようにご注意ください。
- タッピングねじ⑧を使用して、本体を車両にしっかりと取り付けてください。

注意
この部分は、他の部分にくらべて温度が高くなりますのでご注意ください。

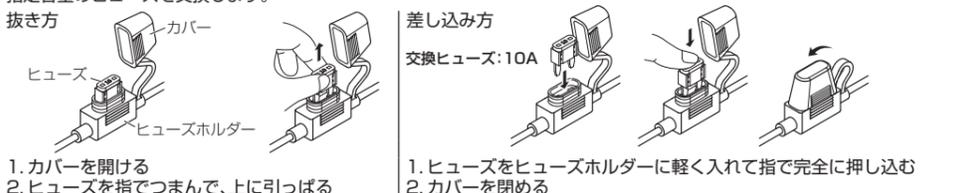
リモコンの固定のしかた



注意
● 運転の妨げにならない場所、エアバッグの作動に支障がない場所に固定してください。
● 直射日光が当たる場所やヒーターの熱風が直接当たる場所は避けてください。製品に悪い影響を与え、火災の原因となります。

ヒューズの交換のしかた

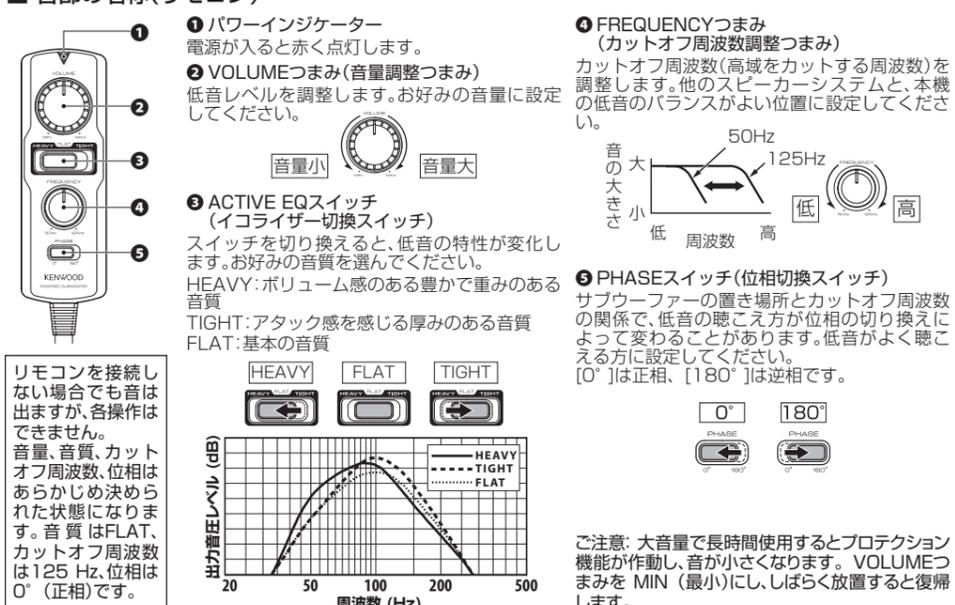
指定容量のヒューズを交換します。



注意 必ずヒューズに表示された指定容量(アンペア数)のものと交換してください。本製品は10Aです。

操作のしかた

各部の名称(リモコン)

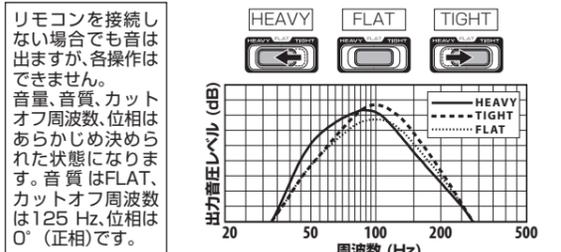


- ① パワーインジケータ
電源が入ると赤く点灯します。
- ② VOLUMEつまみ(音量調整つまみ)
低音レベルを調整します。お好みの音量に設定してください。

- ④ FREQUENCYつまみ(カットオフ周波数調整つまみ)
カットオフ周波数(高域をカットする周波数)を調整します。他のスピーカーシステムと、本機の低音のバランスがよい位置に設定してください。

- ③ ACTIVE EQスイッチ(イコライザー切換スイッチ)
スイッチを切り換えると、低音の特性が変化します。お好みの音質を選んでください。
HEAVY: ポリウム感のある豊かで重みのある音質
TIGHT: アタック感を感じる厚みのある音質
FLAT: 基本の音質

- ⑤ PHASEスイッチ(位相切換スイッチ)
サブウーファーの置き場所とカットオフ周波数の関係で、低音の聴こえ方が位相の切り換えによって変わることがあります。低音がよく聴こえる方に設定してください。
[0°]は正相、[180°]は逆相です。



ご注意: 大音量で長時間使用するとプロテクション機能が作動し、音が小さくなります。VOLUMEつまみをMIN(最小)にし、しばらく放置すると復帰します。